

# 産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

## 取組の概要

取組の概要 : 販路拡大への集出荷施設再編  
計画作成主体 : 富良野市農業再生協議会  
対象品目 : ミニトマト (産地面積: 26.3ha)  
主な取組主体 : ふらの農業協同組合  
成果目標 : 総販売額の10%以上の増加  
助成金の活用 : 整備事業 (ミニトマト選別施設の再編) 状況

## ポイント

実需が求めている安定した品質のものを個々の出荷形態にあわせることが求められており、選別施設を再編整備することにより、新たな販売先の獲得や販売量増につなげ、安定的な農業所得の確保・増加を図る。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

現状: H23 ~ 27年度 5年中3年平均

販売額: 687,247千円  
処理数量: 1,015.6 t

目標: H30年度

販売額: 780,820千円  
処理数量: 1,078.8 t



ニーズに合わせた出荷体制へ



## 推進体制

地域の関係機関(各自治体、農業協同組合、普及センター、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

### 主な取組

ニーズを捉え安定した高品質な農産物が生産できるようセミナー等を開催する。

### 道・市町村単独事業

上富良野町「収益向上作物生産振興事業」、中富良野町「農業用ビニールハウス骨材等設置事業補助金」、富良野市「栽培用ハウス促進支援事業」「スマート(ICT)農業促進支援事業」等の事業と連携し、ハウスの整備・省力化を促進。

## 事業効果

ミニトマト選別施設の再編により実需の求める販売形態への対応が可能となり販路拡大・販売量の増加が期待。  
高収益作物であるミニトマトの導入が進み、産地の農業者所得が向上。

~ 総販売額 ~  
(主要30品目中1位(10a当たり))

